

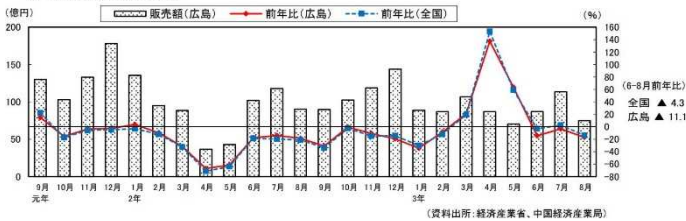
## 穴吹不動産流通株式会社 広島店 市況レポート (12月)

広島県の経済情勢について(中国財務局 令和3年10月27日公表)

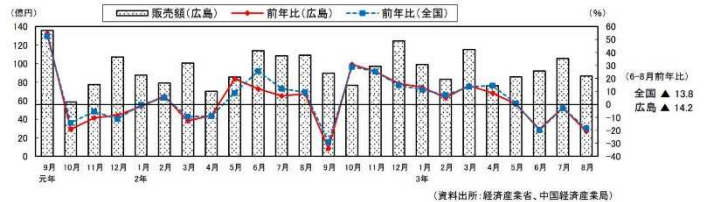
### 「令和3年10月までの個人消費について」

- (1) 百貨店販売は、緊急事態宣言による休業や時間短縮営業に加え、天候不順の影響も受けて、売上げなどが前年を下回っています。
- (2) スーパー販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客数が減少し、8月は豪雨の影響も受けてさらに減少しました。
- (3) コンビニエンスストア販売は、サラダや中食需要で冷凍食品が好調に推移しているほか、オリンピックの開催で家飲み需要が増えたことから、アルコール飲料も好調であり前年を上回っています。
- (4) 家電販売は、巣ごもり需要でドラム式洗濯機や電子レンジなど、高性能・高価格帯の商品が好調であるものの、昨年は特別定額給付金の効果があったことから、反動減となっています。
- (5) ドラッグストア販売は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などで化粧品が低調となっているほか、販売価格の低下により、マスクなどで昨年の反動が出ているが、食料品や解熱鎮痛剤が好調なことから、売上げ・来店客数ともに前年並みとなっています。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、新型車の発売もあり、好調に推移してきていたが、半導体不足による工場の稼働停止や、東南アジアからの部品供給の停滞により、供給面で影響が出てきており、納車が遅れています。

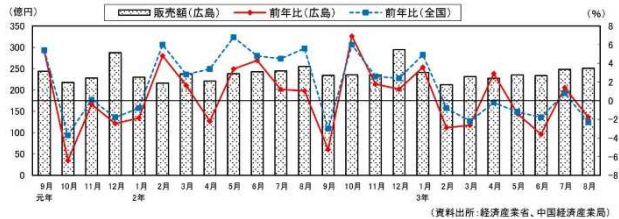
(1) 百貨店販売額(全店舗)



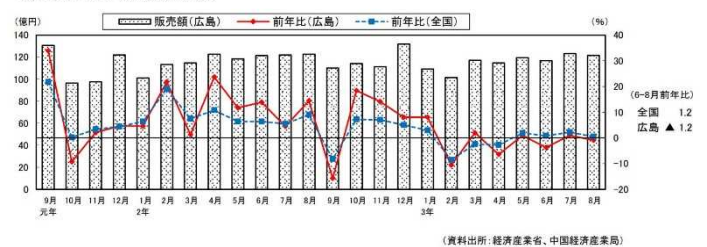
(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



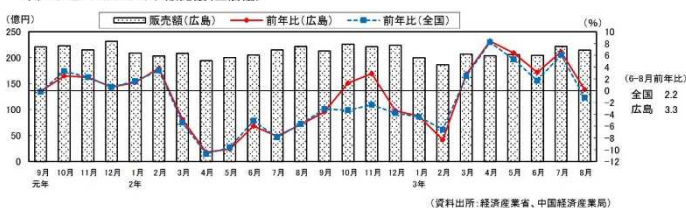
(2) スーパー販売額(全店舗)



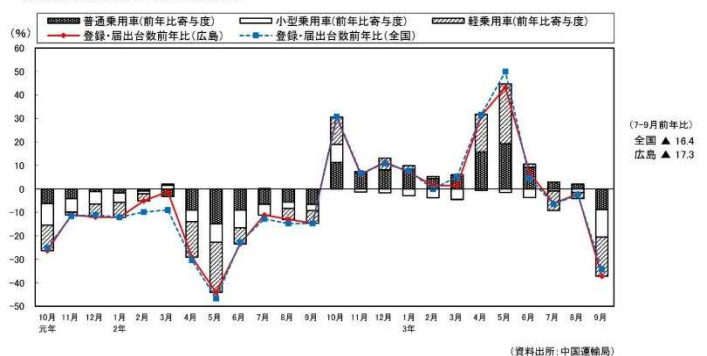
(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



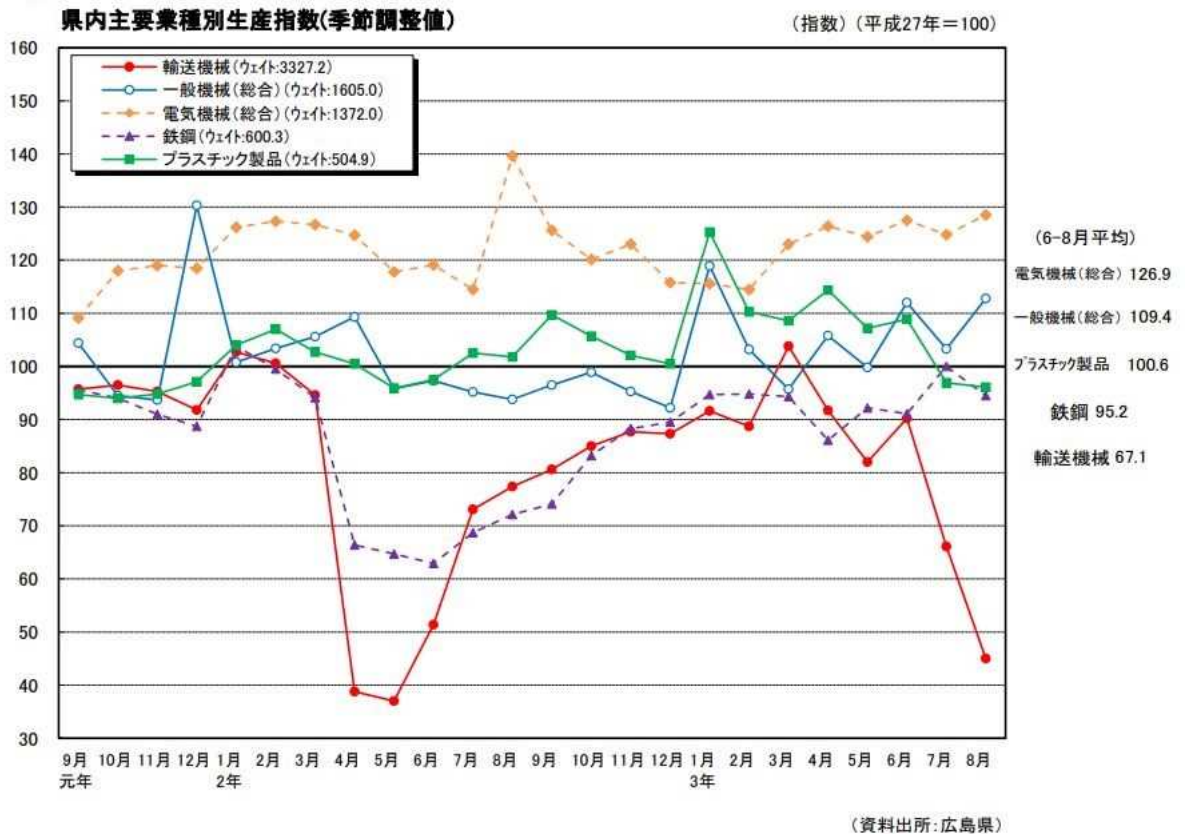
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる中、横ばいの状況です。

## 「令和3年10月までの生産活動について」

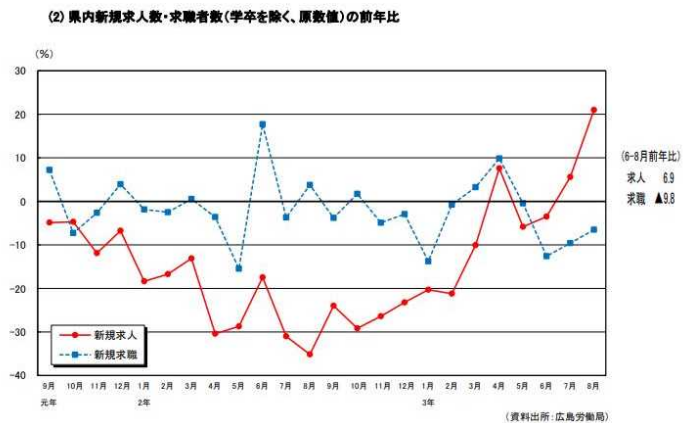
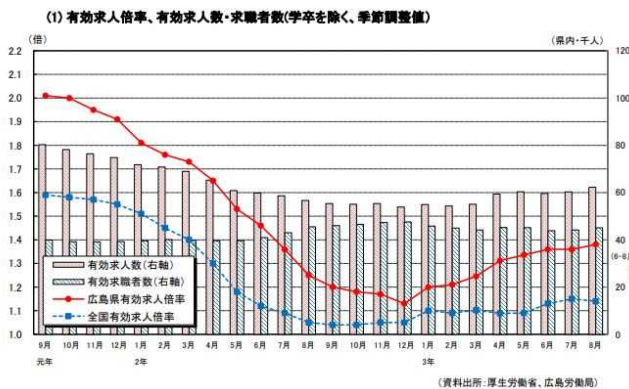
- ・一般機械（総合）は、企業の設備投資意欲が回復しており、需要が持ち直していることから、高めの生産水準となっています。
- ・電気機械（総合）は、外出自粛に伴う巣ごもり需要により、テレビやノートパソコンの液晶ディスプレイ向けで需要が堅調であることから、フル生産が続いています。
- ・鉄鋼は、半導体不足による自動車メーカーの生産調整の影響から、足下で自動車向けの需要が減少しているものの、産業機械や建材、造船向けなど、多くの品目で需要が堅調となっており、自動車向けの需要の減少をカバーできていることから、フル稼働が続いています。
- ・輸送機械は、自動車において、世界的な半導体不足に加え、東南アジアにおいて新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している影響により、半導体を使用する部品の調達に支障が出ていることから、部品の調達状況に応じた生産調整が続いています。
- ・プラスチック製品は、世界的な半導体不足の影響などにより、携帯電話メーカーの生産が伸びていないため、スマートフォン向けの部材に対する需要も増えていません。



生産活動は、供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられます。

## 「令和3年10月までの雇用情勢について」

- ・自動車関係では、生産調整を実施している一方、今後の生産増加を見据え、期間従業員を募集して人手の確保に努めています。
- ・スーパー関係では、店舗にて魚や肉などの生鮮食品の加工を行う人材が集まりにくく、人員が過剰となっている旅行業などの関連会社や衣料部門から食品部門へ配置転換を行っているが、まだ人手不足となっています。
- ・公的機関関係では、新規求人数について、製造業を中心に多くの業種で増加している。また、ワクチン接種の進展による新型コロナウイルス感染症の感染状況の落ち着きなどを見据えて求人を行う動きもみられません。



雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつあります。

## 「まとめ」

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある中、持ち直しの動きに一服感がみられます。先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されています。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要があります。また、国内外の感染症の動向を注視する必要があります。今後の先行きはまだまだ不透明です。ご自身の資産を守るために、現状の資産価値を把握しておくことは大切な行為です。不動産に関するご質問等がございましたら、是非あなぶき不動産流通にご相談下さい。大切なご所有不動産の有効利用をご提案させていただきます。